

ガラパゴスな環境問題

編集委員 辻本一好

日々小論

大学生や高校生とSDGs（持続可能な開発目標）などについて話していると、環境問題への意識の高さに驚かされる。一方で、地域の環境問題への知識や関心が乏しいことに危うさを感じることも少なくない。

例えば、日本の森林では放置された木々が高木化し、風水害の要因となる危険木の増加が問題化している。だが、世界の気候変動などの議論では熱帯雨林の「切りすぎ」が中心となり、「切らなすぎ」が招いた日本の森林の危機はどうしてもぼやけてしまう。

こうした日本の地域特有の課題を「ガラパゴスな環境問題」と呼ぶことにしている。瀬戸内海の貧栄養化もその一つだ。

昭和の公害時代、瀬戸内海再生を理由に産業・生活排水が規制された。それから半世紀、海がきれいになった後も魚たちの成長に欠かせない窒素などの規制が続けられ、世界でもまれな「やせ細った海」を出現させてしまった。SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」の富栄養化とは正反対の課題を、私たちは海から突き付けられている。

ガラパゴスな環境問題の根っこには過度の輸入が招いた「資源循環の喪失」がある。今も私たちが束縛している昭和からの石油依存型社会を、持続可能な循環型社会へと転換させることを日本では環境問題の中心に据えるべきだ。

森林を先人のように燃料林や草原にも活用することで、化石燃料や草飼料の輸入を減らす。化学肥料をやめて、自然本来の有機物のサイクルを意識しながら有機肥料の活用を海へも広げたい。若い人が地域のガラパゴスな環境問題の構造と地球環境問題のつながりを理解して、論理的に解決策を見いだすための学びの場が求められている。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 傍線部①「ガラパゴスな環境問題」と言われる理由を、森林と、瀬戸内海について説明した次の文の空欄に、本文中から適語を抜き出して入れましょう。

世界では熱帯雨林の が問題となっているが、日本では された高木が風水害の要因となっている。

瀬戸内海はきれいになりすぎて などの栄養分が失われ、やせ細った海になってしまった。

2 傍線部①の原因は何ですか。本文中から20字以内で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

～

3 傍線部②の2つの例を本文中から2文抜き出し、それぞれ最初の3文字を書きましょう。

NIEワークシートのこたえ（2025年9月22日公開）

◆ワークシート「ガラパゴスな環境問題(理科)」 2025.9.22付 朝刊 8面 解答

- 1 切りすぎ 放置 窒素
- 2 過度の～喪失」
- 3 森林を 化学肥